



大阪府議会議員 池下 卓

【経歴】1975年高槻市山手町で父・節夫、母・友子の次男として生まれる。

高槻市立磐手小学校、第八中学校、府立高槻北高校 卒業
龍谷大学および龍谷大学大学院 修了

専門学校講師、税理士事務所を経て税理士資格取得。

大阪府議会議員(1期目)

現在、高槻市古曽部町に在住。

【役職】

教育常任委員、商工労働常任委員、決算特別委員
府民文化常任委員、政務調査役員、総務役員などを歴任

【その他】

高槻市消防団 磐手分団山手班

(社)高槻青年会議所、

商工会議所青年部などに所属

新名神高速高槻ジャンクション開通と高速道路の料金一元化

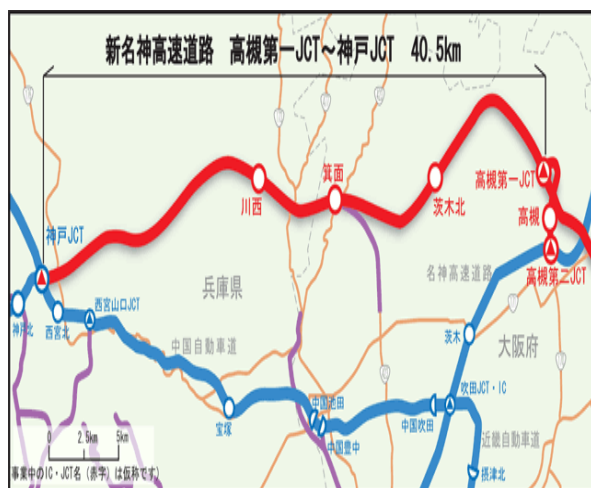
平成28年の新名神高速高槻ジャンクションの供用開始に向けて現在、工事が急ピッチで進められている。

これまで池下は、高速の出入り口が完成すると市内の渋滞増加が予想されることから、十三高槻線や高槻東道路などといったアクセス道路の早期完成に向けて議会で訴えてきた。

そしてさらに「ハイウェイ・オーソリティー(都市圏高速道路の一元化)構想」を提案したい。これまでは地元の皆さまが新名神や名神・阪神高速を乗り継いだ際、高速道路会社ごとに料金が跳ね上がってしまう。これではせっかくの高槻ジャンクションの効果も薄くなる。

料金体系を一元化し、利用しやすい料金体系を実現。距離料金の導入により利用者の不公平感をなくすと共に、物流コストを低減し、大阪・関西経済の活性化を促すことが必要である。

今後も高槻・大阪の発展のために尽力していく。



米山としはる

高槻市地域防災の要 至急消防団員の確保を！

高槻市消防団の定員は800名、平成26年4月1日現在、実員723名で、現在77名の人員が不足で地域防災力の低下が懸念され、非常事態というべき危機的状況。

消防団は消防署と同じ消防機関である。消防署は常備の消防機関であるのに対し、消防団は、平素は生業を持っている市民が、火災・風水害・震災時に消防団員となり市民の「生命・財産」を守る消防活動を行う非常備の消防機関。特別職の地方公務員である。

若者が入りやすい消防団へ

高槻市消防団員の平均年齢は46.3歳(平成24年度)で、35才以下となると80名と極端に少なくなる。早急に若者の入団が必要である。そのためには、勤務先事業所および家族の理解と地域ぐるみでの取り組み、そして高槻市による働きかけが必要である。



あなたの想いで、守れる街がある。
あなたの想いで、救える命がある。
あなたの想いで、深まる絆がある。



米山利治 事務所
高槻市大手町2-26

【プロフィール】

1961年高槻市高槻町で生まれる。

高槻市立桃園小学校 卒業

高槻市立第一中学校 卒業、大阪府立高槻北高校 卒業

京都佛教大学文学部 卒業後、昭和8年創業の酒屋、
米山酒店を継ぐ。

現在、ユニバーサルビール有限会社 代表取締役

高槻市大手町 在住

【社会活動歴】

- ・高槻市消防団 高槻分団 副分団長
- ・維新政治塾 第1期卒業
- ・不動禅少林寺流拳法「拳禅會」事務局長
- ・高槻警察署管内 特設防犯委員会 会員
- ・高槻戎神社 世話人
- ・元)高槻酒販青年会 会長